

まなびのたねネットワークが 目指すところ

まなびのたねネットワークは、「人づくり」と「人とまちをつなぐ」お手伝いをしています。

「人づくり」として・・・年齢や性別を超えて、一人ひとりが、自分の個性・能力を認め、他者を認める。一人ひとりが、お互いの力を引き出し合い、自分の生きている地域を見つめながら、自分らしく社会で生きていく力をはぐくむお手伝いをします。

「人とまちをつなぐ」こととして・・・学校・地域・企業・行政等との連携を活かして、教育現場と地域社会をつなぎます。人や組織を点から線へとつなぐために、地域の主体性・多様性の尊重・「みんなで」合意形成を大切にしながら、ネットワーク構築のお手伝いをします。こうしたお手伝いを通して、一人ひとりが、役割と使命を持ち、共に支え合える社会を目指します。

設立経緯

平成17年度から19年度まで、経済産業省の「地域自律・民間活用型キャリア教育事業 学社融合型キャリア教育プログラム」事業が仙台市内で実施されました。事業実施に際し、教育に関心が高いメンバーが集まり、プログラム開発や小・中学校でファシリテーターとしてキャリア教育の授業を実践してきました。活動を円滑にするため、平成19年2月に任意団体「まなびのたねネットワーク」を立ち上げました。学校・企業・行政・地域等との連携を取りながら活動を続けていくうちに、①学校・市民・企業等の地域リソースをつなぐコーディネート機能 ②ファシリテーターやボランティアを育成・派遣する機能が求められるようになり、継続的にそれらのニーズに応えられる「しくみづくり」のため、平成20年5月26日 特定非営利活動法人（NPO法人）を申請、同年8月5日に認証を受け、特定非営利活動法人（NPO法人）まなびのたねネットワークとなりました。

サポーター募集 ～私たちの活動を支えてくださいますか？～

会 員

会員の皆様には、年3回発行のニュースレターをお届けするほか、講座などのご案内を随時お知らせします。また、正会員の皆様は総会での議決権を有します。

【年会費】

| | | | |
|---------|----|----|---------|
| ■ 正 会 員 | 個人 | 一口 | 5,000円 |
| | 団体 | 一口 | 10,000円 |
| ■ 賛助会員 | 個人 | 一口 | 2,000円 |
| | 団体 | 一口 | 10,000円 |

ボランティア

ボランティアとして活動に参加してみませんか？まなびのたねネットワークは、活動に参加したいボランティアの方を募集しております。ご希望の方は、事務局に電話かメールでお問い合わせ下さい。折り返しご連絡させていただきます。

【募集ボランティア】

- 講座記録の作成、記録写真の撮影と取りまとめ
- ファシリテーションの補助：講座や学校の授業でファシリテートするときの補助（※不定期）
- ホームページの更新、記事の作成
- ニュースレターの編集 など

NPO法人

まなびのたね ネットワーク

郵送先

〒980-0811 仙台市青葉区一番町4丁目1-3
仙台市市民活動サポートセンター
レターケースNO.102

T E L 090-1376-3572（留守電付き）

F A X 022-268-4042（NO.102と明記）

E-mail manabinotane@yahoo.co.jp

ホームページ

<http://www2.zundonet.co.jp/manabinotane/>

※本パンフレットは、「ろうきん地域貢献ファンド2008年度助成事業」で作成しました。



NPO法人

まなびのたね ネットワーク

私たちが大切にしていること ～まなびのたねネットワークのキャリア教育～

私たちが考える「キャリア教育」とは、自分の良さ、他者の良さを理解し、それぞれの良さを組み合わせて一緒にものごとに取り組む力をはぐくむことだと考えています。

私たちは、いろいろな人とかかわりの中でお互いを認め合いながら、共に「学ぶこと」「働くこと」「生きること」について考え、行動することが大切だと考えています。

そして、この「キャリア教育」は、自らが自分の生き方を見つめた時、性別・年齢を問わず、誰にでも必要なものだと思います。

仙台市内の小・中学校では、キャリア教育を「仙台自分づくり教育」として推進しています。まなびのたねネットワークは「仙台自分づくり教育」の支援を積極的に行っています。「自分づくり」の学習を通して、子どもたち自身が「なぜ勉強するのか」「学習が将来自分の生き方にどのように生きていくのか」について、人とかかわりを通して自分なりの答えを見出すことをお手伝いしています。

ワークショップとは

まなびのたねネットワークのプログラムは、「ワークショップ」と呼ばれる参加型の学びのスタイルを取り入れています。ワークショップとは、参加者同士が互いに学びあうことで、多くの気づきや学びがあり、自分の変化をふりかえることができます。

ファシリテーターとは

ワークショップの進行役は、「ファシリテーター」と呼ばれ、「支援者、促進者」を指します。声の大きい人の意見が通るのではなく、マイノリティー（少数派）の意見もひとつの意見として、話し合いのテーブルに乗るように促しながら、その場にいる全員の「思い」を束ねていきます。

自分を認め、周りの人を認め、共に未来を創る力を育みます

活動内容紹介

【学校の先生方へ】

①キャリア教育（仙台自分づくり教育）サポートプログラムの提供と開発

子どもたちの実態にあわせて、先生たちと一緒にプログラムづくりを行います。

②授業のお手伝い

授業において、まなびのたねネットワークが進行する場合、先生とチームティーチングで一緒に進行する場合など、子どもたちの状況に応じてお手伝いしています。

③ゲストティーチャーのコーディネート

まなびのたねネットワーク以外にも、ネットワークを活用したゲストティーチャーのご紹介をしています。

④先生方への研修

キャリア教育（仙台自分づくり教育）への理解促進のお手伝いをするため、先生方を対象とした研修を行っています。



【地域/NPO/自治体等の皆様へ】

①プログラムの開発と提供

まなびのたねネットワークは主催者の考えや思いを汲みながら、参加者や対象者にあわせた、プログラムやワークショップづくりを行い、提供します。

②プログラムの進行

主催者のニーズに合わせて進行を行います。また、ワークショップをしたい方へ、ファシリテーターを派遣・紹介します。

③教育コーディネーター/教育ファシリテーターの育成

コーディネーター、ファシリテーターに必要なスキルやノウハウを身に付けるため講座や研修を行います。



【これまでの実績】

- キャリア教育支援事業（仙台自分づくり教育支援）小・中学校にてプログラムの提供や授業を6校で実施。（2008年度）
- 仙台市『地域づくり人材育成講座』の企画・運営・実施（主催：仙台市）
- 「地域が理解！ キャリア教育って何？ ～大人も子どもも自分づくり～」企画・運営・実施（主催：仙台市太白区中央市民センター）など